

志津川中

生徒が主役 工夫して行事



これがイチオシ

戸倉の伝統芸能を守る

志津川中学校では、戸倉地区の伝統芸能「行山流水戸辺鹿踊」と「長清水鳥囃子」の保存に取り組んでいます。有志で練習を重ね、文化・学習発表会で披露しています。

東日本大震災の大津波で、鹿踊の装具を失ってしまいました。悲しみの中、奇跡的に瓦礫の中から鹿子頭や太鼓が発見されました。鳥囃子は、獅子舞と一体のなじみやすいリズムが特徴。

震災に見舞われながらも地域の方々と一体で守り抜いた伝統芸能を受け継いでいきます。

学校名 南三陸町立志津川中学校
所在地 南三陸町志津川助作1の1
創立 1947年
電話 0226(46)3666
校長 高橋 有
生徒 159人

志津川中学校は、校舎が客船のデッキと煙突をモチーフに建てられ、体育館のエントランスが船尾をイメージしています。私たちは、ユニークな校舎に負けないように、アイデアを出し合い、さまざまな行事に活発に取り組んでいます。

全校生徒で2学期に行う避難所運営訓練は、1、2学期で学んだ「炊き出し」や「火たき」の成果を生かして、本番さながらに実施。みんなで工夫し、状況に応じた運営を学びます。

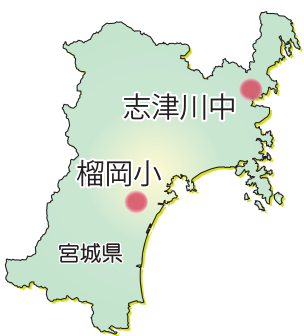


志中ソーランを踊る生徒たち

編集委員 高橋長宇、須藤万智、佐藤光莉、行場雪真、西城光瑛(3年) 西條花菜、佐藤碧、及川姫星、高橋凜(2年) 指導教員 鈴木浩弥、菊池奈歩

アイデア出し合い活動

わが校わがまち スクール通信



今回は 高屋小(百理町) 塩釜二中(塩釜市)

「親方」から働く意味学ぶ

榴岡小

4年生が弟子入り留学

榴岡小学校は、JR仙台駅東口から延びる宮城野通を中心とした学区に位置しています。ビルやマンションに囲まれています。季節で表情を変え、自然豊かな榴岡公園や、代々引き継がれてきた趣のある商店などがあります。

今年で116年目を迎えました。行事や授業では、地域の方と一緒に活動することが多く、共に支え合って歩んできました。活動の一つに、「弟子入り留学」があります。4年生が2日間、40種以上のお店の中から選

び、仕事を手伝いながら、働く意味や大切さを学びます。お店の方を「親方」と呼ぶことにちなみ、名付けられました。



お寺の仕事を学ぶ子どもたち

編集委員 桑田美旺、丹治太耀、千葉絃貴、佐々木瑚夏、佐藤蒼真、庄司涼星、湯田翔真、梅沢遼太、大庭駿輝、桜井みあ、渡辺友真、佐藤颯、清治邦太、加藤樹、高橋芹空(6年) 指導教員 富永友希、小笠原和美

これがイチオシ

世界一のおいしい給食

榴岡小学校の給食は絶品です。おいしさのヒミツは二つあります。一つ目は、給食室の方が真心を込めて作っていることです。朝早くから約1000人分を作ってくださっています。運動会前の応援メニューは、パワーの源になっています。

二つ目は、給食室が新しくなったことです。新校舎建設とともに、最新の調理機器が入り、給食がさらにおいしくなりました。手作りケーキやピザ、炊き込みごはんも味わうことができます。世界一おいしいです。

学校名 仙台市立榴岡小学校
所在地 仙台市宮城野区榴ヶ岡103の2
創立 1907年
電話 022(256)3283
校長 多賀野 修久
児童 929人